



NPO 法人 つくば環境フォーラム

平成30年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境保全の実践・環境教育活動・行政等への提言活動を展開しています。平成30年度は以下の活動を行いました。

1. オオムラサキの棲む里山づくり（環境の調査・研究・保全事業）

参加者総計 のべ 430 名

平成14年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。開発事業終了後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約21haの里山の自然が残っています。民有地での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林である保健保安林では平成15年より森づくりボランティアを継続しています。筑波学院大の学生や関彰商事、メタウオーター等企業の参加もあり、篠竹やつる植物の手刈り、薪クラブと連携してクリを間伐し森の更新を図るなど、きめ細かい活動を行うことができました。9回実施し、のべ128名が参加。活動開始より通算150回の活動となりました。



企業ボランティアが参加(8月) 枯れ始めたクリの間伐(2月) 林内のスマレ(4月)

実施日	参加者数
6月21日	6名
7月16日	12名
8月18日	12名
8月29日	17名
11月24日	15名
12月15日	17名
1月19日	21名
2月23日	18名
3月23日	10名

・里山こどもワンダーランド作戦

親子自然体験プログラム「里山こどもワンダーランド探検隊」を開催し、自然観察、森の手入れ体験、オオムラサキの越冬幼虫調査などを行いました。10回実施、のべ271名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアのべ31名。



森でカブトムシ採りに夢中(7月) 落ち葉を積んでカブトムシのすみかづくり

実施日	参加者数
4月21日	34名
6月16日	33名
7月14日	26名
9月8日	34名
10月20日	28名
11月24日	23名
12月15日	21名
1月19日	21名
2月23日	24名
3月23日	27名

2. 葛城大規模緑地利活用体制構築（環境の調査・研究・保全事業）

参加者総計 のべ 1121 名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14haは、自然環境を保全しつつ活用することをめざして市民協働で整備中の里山です。この事業は、当NPOと一般財団法人つくば都市交通センターの連合体に茨城県から委託されています。平成27年に「葛城里山クラブ」を設立して4年目、4/29の葛城里山クラブ交流会に57名が参加、森に親しみ、交流を深めました。また、毎月の自然観察会「里山散歩」を実施して（11回のべ227名）、周辺住民に緑地の認知と協働活動への参加を促しました。3月には植樹活動「里山を育てるマイツリー大作戦」に106名が参加しました。さらに本年度より「植生ボランティア」を呼びかけ、月2回程度平日に、植物の保護、調査、森の手入れ等の作業を計20回実施し、のべ106名の参加がありました。これらの活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ124名でした。なお、葛城里山クラブは登録者502名で森を見守るファンが年々増えてい

ます（昨年比 71 名増）。また、実際の整備作業は養成した「葛城フォレスター」（登録者 31 名）が有償で担い、草刈りや間伐作業を行った（総作業面積 29.8 万㎡、作業日数 43 日、のべ 437 名）他、「森のボランティア」にて草刈り作業を周辺住民の参加で行いました（5 回のべ 64 名）。



みんなで水辺づくり（春の交流会）



ポット苗づくり（植生ボランティア）



雪の上には動物の足跡（里山散歩）



葛城フォレスター 枯木処理



安全講習



クズ刈り



マイツリー植樹（親子で植えて見守ります） 願いを込めて



106 名が植樹活動に参加

3. 筑波山ファンクラブ（環境教育推進事業） 参加者総計 のべ 122 名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪を広げることを目指し、12 回の観察会や調査活動を実施しました。メンバー登録制で、平成 30 年度の登録者は 93 名でした。毎回の報告をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブメンバーに送付しています。

実施日	テーマ	参加総数
4 月 22 日	裏筑波のカタクリと早春の植物	11 名
5 月 6 日	筑波山・東山麓 新緑の森観察	22 名
6 月 3 日	加波山・初夏の植物	11 名
7 月 1 日	筑波山・広根場林道の植物観察	15 名
8 月 11 日	筑波山・自然研究路の植物観察	6 名
9 月 2 日	朝日峠～雪入山の自然観察	6 名
10 月 9 日	筑波山・自然展とブナ結実調査	名
11 月 25 日	加波山・紅葉と晩秋の植物	7 名
12 月 23 日	つくし湖～薬王院 野鳥観察	14 名
1 月 21 日	茨城県自然博物館の菅生沼野焼き協力	7 名
2 月 17 日	筑波山麓を歩く	13 名
3 月 25 日	宝篋山・早春のスミレ	10 名



7 月小町山の山頂にて



11 月加波山で紅葉の観察

4. 筑波山における環境教育事業 (環境教育推進事業)

参加者総計 のべ 2174 名

・筑波山ビジターセンター事業

平成 25 年度より、つくば市観光推進課と協働でビジターセンターの試行事業を毎年行っています。今回は 10/6~14 に、ケーブルカー山頂駅 2 階休憩所を会場に実施しました。動物はく製、キノコのレプリカの展示、秋の自然写真展、自然発見マップ、ジオパークの展示などを行い、9 日間で 1,380 人の来場者がありました。今回の試行のテーマは「外国の人に筑波山の自然を伝える」ことでした。展示に英語の説明をつけた他、外国人向けに英訳した「自然見どころマップ」の配布やモデルツアーの実施などを行いました。また、これらの成果をもとに英語の Mt.Tsukuba Nature Guide を作成しました。この事業には、筑波山自然インストラクターのメンバーが参加・協力し、スタッフと合わせ、準備を含めて、のべ 71 名が活動を支援しました。



大勢の来場者でにぎわいました



自然発見マップと筑波山 3D 模型



外国人向けガイドツアー



外国人も人気のネイチャークラフト

・筑波山自然環境教育事業 参加者数計 のべ 124 名

つくば市環境都市推進課より委託され、筑波山で自然環境を学ぶ 4 回の活動を実施しました。様々なコース、様々なテーマで筑波山の自然にアプローチしつくば市の自然環境について学んでいただきました。活動を支援したスタッフはのべ 17 名でした。

実施日	テーマ	参加者数
4 月 14 日	筑波山の春植物を学ぶ カタクリの開花調査をしよう	20 名
6 月 23 日	つくば市の里山を学ぶ 国蝶オオムラサキの棲む森とホタル舞う谷津田	23 名
11 月 23 日	水辺の自然環境と人の暮らし	34 名
12 月 8 日	筑波山すそのめぐり	30 名



筑波山でカタクリの開花状況調査



6 月葛城で平地林の観察



11 月牛久沼の湖畔で解説



12 月筑波山市有林

・自然ガイド活動 筑波山他 参加者合計 のべ 108 名

筑波山や宝篋山麓などで自然についての解説を行い、環境保全への理解を進めるインタープリテーションを行いました。のべ 105 名にガイドを実施し、活動を支援したスタッフ・ボランティアは、のべ 3 名でした。

実施日	対応した学校・団体、場所、活動テーマ	参加者数
7 月 3 日	つくば市荃崎第一小学校 3 年生 筑波山 (御幸ヶ原と研究路) 筑波山の生立ちと自然	105 名

5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 1349名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。今年も、親子で四季の移り変わりを感じ、自然へのまなざしを育てることをめざし、年間登録制で月に2クラス(水曜日及び金曜日クラス、各30組)計20回を実施しました。子どもだけでなく、お母さんたちにも新しい発見がいっぱい、お昼時間の交流タイムはお母さん同士の会話も弾んでいました。また、この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も10回実施しました。また、12月、2月、3月に体験参加を募集し、各回3組程度の参加を受けつけ、次年度への活動へつなげることができました。イベントへの参加者数はのべ1145名(体験参加含む)、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ204名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月16日・18日	新緑の森へいこう!	130名
6月15日・10日	じゃがいも掘りと、とれたてじゃがいも料理	112名
7月6日・8日	夏の生きもの探検隊!～ザリガニ釣り体験	107名
9月7日・9日	生き物いっぱい!! つるん～とわらび餅づくり	99名
10月19日・21日	秋の森の宝さがし～お月見飾り	102名
11月16日・18日	♪森でフェスティバル&森のバザール♪	115名
12月7日・9日	☆森のクリスマス☆	114名
1月11日・13日	竹筒でごはん炊き・どんど焼き・焼きマシュマロ	138名
2月15日・17日	春の七草をさがそう!～七草がゆ	108名
3月15日・10日	春を見つけよう!～よもぎだんごづくり	120名



今年度も60組で活動を開始 ジャガイモも豊作! 落ち葉のインディアンハット マシュマロでどんど焼き

6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 301名

つくば市農業課林務係に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より、共催で高崎自然の森での自然体験プログラム「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。冬の森の手入れ体験は、隣接する「おぐろくの森」の維持管理をしている「つくばフォレストクラブ」のメンバーの協力を得て実施、オブジェづくりでは、にれ工房の山崎氏に指導をお願いしました。毎回多数の申し込みがあり、リピーターの参加者も多い事業です。高崎自然の森の認知度もアップし、様々に活用されるようになってきています。イベントへの参加者はのべ249名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ52名でした。

実施日	テーマ	参加者数
5月20日	第1回:春の森たんけん+ピース・オブ・フォレスト(親子対象)	72名
7月27日	第2回:夏休み企画!森の生きものマップづくりI(小学生対象)	31名
8月2日	第3回:夏休み企画!森の生きものマップづくりII(小学生対象)	36名
11月3日	第4回:秋の森たんけん+落ち葉アート(親子対象)	51名
12月2日	第5回:森の手入れ体験+クリスマスオブジェづくり(親子対象)	59名



オリジナル植木鉢で苗木づくり 夏休み生きものマップを作成 秋の森でキノコにびっくり 木を倒す体験

7. 筑波山麓谷津田再生事業（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 647名

筑波山のふもとと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で13年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種が安定的にみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナーに31組の親子登録があり、毎回の体験イベントに子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

・谷津田の米づくり 参加者計のべ 343名

実施日	テーマ	参加者数
5月12日	田植え	70名
6月30日	ホタル観察会	102名
9月22日	稲刈り	112名
10月28日	収穫祭	59名



体験付きオーナーの田植え 収穫祭でおもちつき

- ・オーナー参加者の親子体験活動「田んぼオープンデー」を7回実施して104名の参加がありました。
- ・22名（37口）の支援者の皆さんに資金の協力をいただきました。
- ・㈱アレフ（びっくりドンキー）の社員研修を受け入れ、田植え、稲刈りを行いました（参加者のべ27名）。
- ・秋以降にこれまでにない多数のイノシシの侵入を受け、畔を酷く破壊されたため修繕作業を実施、計13日を要しました。
- ・「米づくりボランティア」に7名が登録、イベント以外の作業を38日実施、無農薬田んぼを6枚維持しました。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ173名でした。



イノシシに壊された畔



修繕作業



オープンデー 草取り体験



田んぼで焚き火

・「筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり」 参加者総計 のべ 54名

谷津田周辺の里山の雑木林中、森の若返りを図るための間伐と枝の片づけ、下草刈りなどの手入れ等をおこない、親子で楽しむ活動と組み合わせ実施しました。「つくば薪クラブ」と連携して、里山整備で出た材を有効活用しています。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ13名でした。

実施日	テーマ	参加者数
12月22日	森の手入れ、伐採枝のたき火、焼き芋	12名
2月2日	伐採枝のたき火、五平餅焼き	29名



子どもも大人も枝運び

8. 都市と農村を結ぶ「すそみ」の活動（連携促進事業）

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流を促進し、地域活性化を目指すことを目的に結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会に、参加しています。年2回発行される筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会に参加し、「筑波山麓秋祭り」では「すそみ茶屋」を2日間（11/4～5）出店、農家の庭先コンサートなども行って、交流を深めました（参加者約80名）。



すそみ茶屋の庭先コンサート

9. 筑波山麓自然学校（環境教育推進事業） つくば市委託事業

参加者総計 620 名

平成 14 年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、一般市民が筑波山麓の自然環境への理解を深め、将来へ向けての自然環境の保全・自然資源の有効活用と地域の活性化が進むことをめざしています。今年度からハガキ申込みによる抽選としました。年間 11 回の講座を開講し、参加者数は 522 名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ 98 名でした。

実施日	テーマ	参加者数
6 月 17 日	とれたてジャガイモで手作りランチ & 初夏の自然散策	63 名
7 月 21 日	発見・たいけん・沢遊び	74 名
7 月 29 日	昆虫ナイトウォッチング (台風で延期)	17 名
8 月 19 日	沢の生きもの観察会	34 名
8 月 25 日	虫・むし探検隊 (まつりつくばと重なる)	29 名
11 月 18 日	イモ掘り、さつまいものお菓子作り、 森探検	67 名
12 月 16 日	焚き火とクリスマスクラフト	63 名
1 月 12 日	おもちつきとならせ餅	61 名
1 月 26 日	竹ご飯と竹工作	44 名
2 月 9 日	100 キロのみそづくり	雪で中止
3 月 17 日	食べられる野草を探そう	70 名



沢遊び



虫むし探検隊



森探検 (落ち葉集め)



ならせもち



食べられる野草を探そう

10. ニュースレター「TEF TEF (てふてふ)」の発行 (情報収集・発信事業)

「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して発行しています(発行部数 2000 部)。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、教育活動の参考にさせていただいています。また、季節ごとの活動に関しては TEF News を発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほかホームページ上でも公開しています。

【平成 30 年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

4 2 号	8 月発行	都市の中の里山 「こんぶくろ池自然博物公園」「下田の杜」
4 3 号	2 月発行	まちの近くの里山を未来へつなぐヒント 人と里山の新しい関わりを求めて



TEF News Vol.24 2018年4月発行
TEF News Vol.25 2018年10月発行

11. その他

●環境に関わる活動の連携の促進事業

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会
筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会 「すそみろく」第38号、第39号を発行

●情報発信事業

つくば市環境フェスティバル 11/10 11/11
筑波山の自然紹介パネル 筑波山ケーブルカー山頂駅2階休憩所 通年
ホームページ、フェイスブック、ブログ「葛城の森から」による発信 通年

●環境の調査・研究・保全事業

「筑波山モニタリングサイト樹木調査」8/27～30
森林総合研究所の依頼を受けて、筑波山の1ha
モニタリングサイトの樹木調査を実施しました。

「筑波山におけるブナの結実調査」 11/1
2012年より継続調査しています。
本年は東京農業大学と協働で実施しました。



学生も参加して筑波山で樹木調査

「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)

つくば市文化財課の依頼を受けて平成27年度より
つくば市内の巨樹等自然文化財の調査を継続中。
4年目の本年は、つくば市北部地域の巨樹や、つくば市の天然記念物
ホシザキユキノシタの調査を行ないました。



巨樹調査

●環境教育推進事業

筑波学院大学オフ・キャンパス・プログラム 学生の受け入れ 6月～10月
筑波大学大学院自然保護寄附講座授業 10/15 11/12 12/10

●環境に配慮したまちづくりの研究・提言活動

つくば市文化財保護審議会 10/25 1/28
つくば市文化財保存活用計画策定懇話会 7/23 8/30 10/1 1/21
筑波山太陽光発電所設置に関する要望書を県へ提出 6/26
阿見町太陽光発電所残置里山林の保全における調査・提言 7/26 2/12

【企業ボランティア等受け入れ】

株式会社アレフ 谷津田保全活動 5/23 7/12 10/2 のべ43人
関彰商事株式会社 森づくりボランティア活動 12/15、1/19、2/23 34名



(株)アレフ7月谷津田の草取り

【寄付】

日本フィランソロピー協会を通じて東京ガスグループ「森里海つなぐプロジェクト」
の一環として「筑波山麓水源の森づくり」活動への寄付20万円をいただきました。